

# 動物衛生学実習 家畜保健衛生所見学

2012.07.10

宮崎家保（発育鶏卵で培養したウイルス回収のデモンストレーションを学生全員体験させていただきました）

2012.07.11

FMD 防疫演習（各班、防疫動線、作業手順等について発表し、討議しました）



獣医衛生学実習(2006.7.5.)(2007.7.4.)(2008.7.7.)  
宮崎県宮崎家畜保健衛生所で現地講義を受けました。

宮崎家畜保健衛生所(2006.7.5.)  
玄関で、まず、靴の裏を消毒しました。(2006.7.5.)  
(2007.7.4.今年もお世話になりました。ありがとうございました。)

獣医衛生学実習(2007.7.7)  
宮崎県宮崎家畜保健衛生所で現地講義を受けました。  
業務内容について分かりやすく説明していただきました。  
ありがとうございました。  
午後は検査課の生化学、BSE、病理、細菌、ウイルスの各研究室を見せていただきました。  
また、最後に溝部課長から総合的紹介がありました。  
ありがとうございました。

学生感想文

[090707kahokannsou.pdf へのリンク](#)

獣医衛生学実習(2008.7.8.)  
宮崎県宮崎家畜保健衛生所で現地講義を受けました。  
ご協力いただきました村田定信所長ほか皆様に厚く御礼申し上げます。

まず、玄関で靴の裏を消毒しました。  
家畜保健衛生所の業務についての説明

### 検査課の検査室の見学



### 家畜衛生保健所の見学を終えて(学生 感想)

今回、佐土原にある中央家畜衛生保健所に行き、業務の概要をスライドなど用いながら分かりやすく説明していただき、また、施設見学をさせていただけたことで、家畜衛生保健所の持つ大切な役割を理解することが出来ました。

家畜衛生所内に設けられた、それぞれの部門の説明を受ける中で、私のイメージしていた仕事内容は、衛生課の業務のみで、その他にも、管理飼料課、検査課といった、いかに効率的に家畜生産を向上させるか、いかに正確に異常牛の疾病を特定し今後の被害を予防するか、などの役割を持つ重要な部門があることが分かりました。

また、家畜衛生保健所とは、近年宮崎で起こった口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなどの法定伝染病に指定されるような、特別な疾病のみに関与してくるのではなく、もっと身近な疾病、と  
いいますか、地域の獣医師が担当牛に発生した疾病で判断がつかず、困ってしまったとき、また、自分の診断に確証を得て、今後の診療に活かしていきたいときなど、頼りにできる存在であることも分かりました。

施設見学時に見せていただいた映像では、所員さんが何度も強調されていた、「マンパワー」の強さを目の当たりにしました。

ニュースなどでは規模や詳しい作業内容が分からず、作業された人々の大変さが分かりにくかったのですが、実際の作業現場を紹介していただくことで、ビデオ越しにもその大変さが伝わってきました。

作業状況を見ながら、封じ込めの必要な伝染病の発生時には、獣医師だけでなく、土木関係者、行政関係者、その他ボランティアの方の協力無しでは、封じ込めには成功しないことが分かり、普段からの地域とのつながりを大切にしておかなければならないことも分かりました。

私は、将来の職場として体格、体力的に大動物は無理だろうと、小動物臨床を考えていましたが、家畜衛生保健所での仕事は、治療を行う臨床現場ではないが、臨床の現場とより密接につながったものだと言うことが分かり、新たに興味が湧いてきました。

今回の見学で卒業後の進路の選択肢が1つ増えたのは確かです。

今回の見学だけに終わらず、家畜衛生保健所のことについて理解を深めた上で、色々な選択肢の中からより自分にあった職業につけられたらなと思いました。

ありがとうございました。

### 宮崎家畜保健衛生所を訪れて(感想)

今回の獣医衛生実習では、佐土原にある家畜保健衛生所を訪問しました。

将来の就職先に公務員を視野に入れている自分としては、家畜保健衛生所の業務内容等を知る上で、今回の訪問は非常に楽しみでした。

到着して、まず家畜保健衛生所の概要や、さらにそれを構成している課、それぞれの課の業務内容などを説明して頂きました。

その中の管理飼料課は業務内容として、精液性状や病気の有無を調べる種畜検査や飼料の安全性と品質を確保するため飼料の分析等を行なっているとのことでした。

さらに飼料対策については宮崎家保でのみ行なっているとのことでした。

また管理飼料課の説明の中で、A飼料、B飼料という言葉が出てきて、職員の方の説明でその意

味を初めて知りました(Aは肉骨粉が含まれない飼料、Bは含まれる飼料)。

家畜保健衛生所の業務として、飼料に関することまで行なっていると知って驚きました。他に衛生課、検査課という課が存在し、監視伝染病の発生予防に努めたり、診療獣医師からの病性鑑定・診断依頼を受けたりするとのことでした。

午後は、午前中に説明された検査課の各検査室を実際に見学させていただきました。検査課には、BSE室、生化学室、病理検査室、細菌検査室、そしてウイルス室とがあり、それぞれの部屋に行き15分程度各部屋の内容などを説明していただきました。

検査課の業務内容は、自分の所属する講座の病性鑑定と重複している部分があり、そしてさらにより詳細な検査や講座では実施していない検査(BSE、生化学など)を行っており、非常に興味が持てました。

また、2007年に宮崎県で発生した高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)について、当時の発生状況等を説明していただきました。

HPAIを発症した鶏の写真などを見せていただき(今回初めて見ました)、大変興味深かったです。

今回、家畜保健衛生所を見学することができて非常によかったと思います。職員の皆様、ありがとうございました。

#### 宮崎家畜保健衛生所を見学しての感想

今回家畜保健衛生所を見学させていただき、中で、検査課の各部屋を見学させていただいたのが一番印象に残りました。

なんだか大学の研究室に来たような雰囲気、仕事の内容もそれぞれわかりやすく説明していただけたので、楽しく検査課の人たちの仕事を知ることができました。

病理の部屋を見せていただいたとき、検査課には延岡や都城からも検体が送られてくると聞き、そして部屋の床から外まで並んでいる検体の入ったバックを見て、あの量をこなすのは凄いなと思いました。

また、私は生理学講座に所属しているので、生化学の部屋を特に興味を持って見学したのですが、生化学や生理学が実際の臨床現場とリンクした保健衛生所でどのように生かされているのかが見ることができ、勉強になりました。

中毒の検出に使うクロマトグラフィーの装置は、実際に目にしたのは初めてで、中学校の理科からなんとなく登場していたものですが、イメージよりも大きかったのが印象的でした。

また、こんな風に研究職に就くのも面白そうだなと思いました。

そしてもうひとつ印象的だったのは鳥インフルエンザのVTRを見たことでした。

ニュースなどで目にしていたものよりもずっと生々しくて、実際に身近で起きていた事件だったことを再認しました。

また、発生農場での鶏の処分なども、何をしているのかわかる状態では初めて見たので、数の多さと処理効率に驚きました。

糞尿処理も大変そうでその処理法も何種類かあるのも初めて知りました。

ニュースでよく見た埋却処分も、直接ではなくてもあの近さから見ると迫力があり、大変な作業だったことが伺えました。

しかし、あれらの徹底した対処があったからこそ早期の終息につながったのだと思います。今回見学させていただいたことで家畜衛生保健所の仕事の一部を知ることができ、また将来の仕事を選ぶ上での選択の幅も広がりました。

お忙しい中どうもありがとうございました。

#### 家保を見学しての感想

農家回りでよく佐土原にも来ていましたが、家保に一それも中に入るのは初めてだったので、少し緊張しました。

個人的に、午後の研究室回りがとても面白かったです。

よく、農家さんから家保の名前は出ていたのですが、僕の中でのイメージは『お役人的な』感じで規制や注意事項ばかりを仕事にしているものでしたが、実際は全然違いました。人数が既に多いのに無理を言ってウイルス室も回れる班に入れてもらって全ての部署を見せて頂いた訳ですが、どの部署でも受けた印象は、農家さんや消費者の事を想って仕事をしているのだ、と言うものでした。

確かに、ヒトの健康・安全を第一に考えれば規制や注意も仕方の無い事ですが、それを農家の方にも協力してもらわないと実現は出来ないのです。

強い印象を受けたのは、生化学検査質でした。

主に中毒(エンドファイト菌糸)の話をして下さったのですが、農家さんの気がつかない所・手の届かない所に原因があったりしたときに、誰がそれに気づいて改善出来るか・・・

また、他の地域や諸外国で起きているリスクを誰がいち早く知らせるか・・・。

時には、先方に理解されずに煙たがられる事もあるのでしょうか、その中で家保での仕事を続ける姿に何を第一に考えているのか、誰の事を想っての事なのかが少し見えた気がします。

実際、自分の将来の希望の第一が大動物臨床で、こうして寄生虫病学講座の末席に居させて頂いているのですが、宮崎に残るとしたら必ず牛ーそれも多くは肥育牛に臨む事になると思います。その時に自分が前線で治療をする者になるのか、家保の様な機関で奔走する者になるのかはまだまだ分かりませんが、その時を決めるための素材を沢山聴かせて頂きました。

有り難う御座いました。

来年の後輩達の為にもーと言う形になるのかも知れませんが、来年は家保に関する質問の事前聞き取り、もしくはQ&Aの様な時間を設けて頂けるとなご理解が深まると思います。

イメージとのギャップ是正だけでなく、学生も自分がどう思っているのか・何を知りたいと思っているのかを事前に整理しておくとお日も意見や質問が出易くなると思います

#### 家畜保健衛生所を見学して

今回、家畜保健衛生所で行っている業務についての話を聞いて、これほど多くの業務をこれだけの人数でこなしているということに驚きました。

宮崎家畜保健衛生所は管轄している区域が広く、他では行っていない仕事も担っているので相当忙しそうだと感じました。

飼料や医薬品に関する取り締まりから、伝染病の予防、畜産環境に関する業務、そして死亡牛の病性鑑定までさまざまな側面で私たちの安全を守るための仕事が行われており、たいへん重要な業務ばかりでした。

高病原性鳥インフルエンザについては、実際に現場を体験した話だったので、とても臨場感があり、宮崎でこの話が聞けてよかったと思いました。

教科書で勉強するだけでは分らないこの病気の怖さや重大さが分かりました。

安心して畜産物を口に入れることができるのは、家畜保健衛生所によって安全性が維持されているからであり、とてもやりがいのある仕事だと思った。

#### 家畜保健衛生所を見学して

今回、家畜保健衛生所を見学させていただいて、より良い衛生環境をつくるのに重要なのは、立派な施設ではなく人の手によるものだと強く感じた。

実際、検査課の各検査室を回ってみて、特別な機械や建物よりも何に気を使ってどのように検査を行っている

のかに重点がおかれていたように思う。

私はウイルス室の見学もさせていただいたが、想像よりもずっと入りやすい検査室であることに少し驚いた。

でも先生の話の伺うと、ある部屋では絶対に扱わないものがあったり、逆にある部屋でしか扱わないものがあったり、気の使い方次第で十分な検査ができることがわかった。

家畜保健衛生所で働く獣医師の数が私の想像よりも少なく、宮崎各地から届くサンプルを検査す

るのはかなりの労力ではないかと思われた。  
特に病理の検査室での説明の際、多くの検体が送られるが、鑑定までの過程に大体6～7日以上  
の時間を要するという話を聞き、非常に驚いた。

さらに他の業務もあると言われたので、本当に大変な仕事だと思った。  
今まで衛生所で働く獣医師の仕事内容まで知る機会が少なかったので、その仕事量や内容の濃さ  
に驚かされるばかりだった。

様々な疾病が広がる前に検査し、防御にあたるのは畜産の盛んな宮崎では特に重要な過程であ  
る。  
衛生所の獣医師がしっかりと疾病に対するマニュアルを持ち、発生したらどのような対策をとる  
かなどがきちんとしていたからこそ、昨年発生した鳥インフルエンザも拡大せず、素早い鎮  
静となったのだと思う。

衛生所のほんの一部の仕事を見ただけにすぎないが、その大変さや充実さがわかった。  
丁寧に説明をしてくださった衛生所の先生方、  
本当にありがとうございました。

### 家畜保健衛生所を見学して

今回、宮崎家畜保健衛生所を見学して一番強く感じたことは、多くはイメージ通りであったので  
すがその中にも意外であった部分があり、予想以上に面白い仕事をなさっているということだ  
す。

本大学には獣医衛生学講座があり、そこに所属する学生たちからちらほらと実験の内容やルーチ  
ンの内容を聞いたり獣医衛生学の講義を受けたりと、これまでに衛生学に触れる機会もそれなり  
にあったのですが、家畜保健衛生所を見学したことにより、座学と実践で全くちがう面白さを見  
ることができたような気がします。

特に、様々な講義と検査室の見学を通して鳥インフルエンザ発生に関する講義と業務内容に意外  
と臨症的な要素が多かったことが最も印象に残りました。

見せていただいた映像も含め鳥インフルエンザに関する講義はとても印象深かったです。  
今まで畜産試験所と養鶏場へ学外見学で行かせていただき、どちらでも鳥インフルエンザのお話  
がありましたが、今回の講義でさらにどれだけ鳥インフルエンザの発生がおおごとだったのか、  
改めて認識できました。

鳥インフルエンザ発生農家での様々な処分にはなかなか考えさせられる部分もありましたが、韓  
国では全土に鳥インフルエンザが伝播してしまったことと比較すると、家畜保健衛生所の方々も  
含め宮崎の迅速な対応がいかに効果的なものであったか、感心するばかりでした。

また、家畜保健衛生所と言うとなんだか衛生管理の指導や病理鑑定、微生物鑑定など研究系なイ  
メージがありましたが、意外と臨床のこともして農家に出向いてワクチン接種を行ったりし  
ているのを見ると、大動物臨床もできて研究系の仕事もできる、総合的で働き甲斐のあるところ  
だという印象を受けました。

加えて、それぞれ見学させていただいた各検査室もわかりやすい説明をしていただいたこともあ  
り、なかなか興味深かったです。

病理検査室はものすごい量をこなしていることに驚きましたし、細菌検査室では様々な感染ケー  
スに遭遇でき、学会報告も行っていることが魅力的だと思いました。

生化学検査室では実際に臨床知識が必要となる検査も多く行っていてとても面白そうでした。  
あと、BSE室で拝見したホモジナイザー、私の研究室は人海戦術にて手動で行っているため是非  
導入してほしいです。

最後に、今回この見学にお忙しいなか我々学生のために時間を割いていただいた職員の方に感謝  
したいと思います。

我々学生が聞いてもわかりやすく、丁寧に説明いただいたおかげで、家畜保健衛生所に以前より  
もまして興味が湧きました。

今後、自分の進路を考える上で重要な参考とさせていただきたいと思います。

## 家畜保健衛生所を見学しての感想

今回宮崎家畜保健衛生所を見学させていただき、多くのことを知ることができました。実際、家畜保健衛生所というところが何を行っているのかよく知らなかったので興味を持って見学することができました。

午前中で各課の業務について学ばせていただき、こういった内容の仕事が行われているのか知ることができました。

スライドで実際起こった症例も見ることができ、その症例の所見などが分かりました。午後からの検査室の見学は普段仕事を行っている場所を見せていただき、実際の現場はどのような感じなのかが分かりました。

検査室は細菌検査室、生化学検査室、病理検査室、BSE室、ウイルス室があり、僕はウイルス室以外の部屋を見学しました。

各部屋で実際に使っている機材や検体、その部屋での作業の流れを教えてくださいました。見たことがなかった機械もあり、業務の流れなども知ることができる機会であったので大変興味をもって見学することができました。

今回の見学で今までよく知らなかった家畜保健衛生所の業務内容を知ることができ、またその実際の現場を見ることができ、とても充実した内容の実習となりました。

実際の場を見ることができるというのはこれから自分の将来の進路を考えていくうえでも貴重な経験であると感じました。

## その他

[kaho.pdf へのリンク](#)

宮崎家畜保健衛生所見学  
(2009.7.7.もお邪魔しました。)

ご協力いただきました恒吉守所長ほか皆様に厚く御礼申し上げます。

宮崎家畜保健衛生所見学  
(2011.7.12.もお邪魔しました。)

ご協力いただきました工藤 寛 所長ほか皆様に厚く御礼申し上げます。  
家畜保健衛生所の業務について教えてくださいました。  
病性鑑定課ウイルス検査室で発育鶏卵の観察ウイルス接種模擬をしました。  
生化学検査室。エンドファイト中毒事例を教えてくださいました。  
細菌検査室。サンプル接種法を教えてくださいました。  
病理家検査室。検査の流れを教えてくださいました。

宮崎家畜保健衛生所見学  
(2012.7.10.もまたまたお邪魔しました。)  
ありがとうございました。

(ウイルス担当の先生から、発育鶏卵で培養したウイルス回収のデモンストレーションを学生全員体験させていただきました)

(細菌検査担当の先生から、獣医師なら必ずできなければならない「炭疽診断法」の1つ、アスコリー試験のデモンストレーションを体験)

(生化学検査担当の先生から、肥育牛のビタミンA測定について説明を受けました。他にも「オナモミ中毒」の事例紹介は学生の記憶に残ったようです。)